

第3回常任理事会議事録

日 時 平成20年6月17日(火) 19時～20時20分
会 場 宮崎市郡医師会臨床検査センター 食堂
参 加 日野浦 津曲 岩田 日高 田邊 佐藤 花牟禮 松尾 内山 伊豆
欠 席 清山
議事録担当： 伊豆

- ・第2回常任理事会議事録確認
- ・報告事項

1、会長挨拶

各理事は相互に協力し、事務局が円滑に作業できるよう、執行・報告事項はレポートを提出して戴きたい。

2、事務局

①事務(日高)

- ・事務連絡
- ・6月号ニュースを作成配付した。
- ・6月14日、九臨技会議が臨時に福岡市で開催され、津曲副会長が出席した。
- ・7月5日、宮崎市総合体育館にて、(社)日本糖尿病協会と(株)サノフィ・アベンティスが共催する「グリコヘモグロビン認知向上運動」が一般を対象に開催され、当会より15名の技師が派遣参加する。
- ・6月27日、宮崎県プライマリ・ケア研究会世話人会が、宮崎県医師会会館で開催される。
- ・宮崎県福祉保健部より、宮崎県公衆衛生功労者表彰の被表彰の候補者推薦について、依頼があった。
- ・宮崎大学医学部 池之上教授より、市民公開講座の受講者募集依頼があった。
- ・日臨技より、採血用穿刺器具の取扱いについて通知があり、7月のニュースで会員に周知する。
- ・宮崎県医務薬務課より、新しい公益法人制度に係わる資料送付の依頼があった。各理事は一読し、今後の宮臨技がどのように新しい公益法人制度に移行するか、習熟する。

②庶務(伊豆)

- ・5月開催の生涯教育は「臨床化学研究班勉強会」(39名参加)、「平成20年度定期総会」(61名出席)、「自動血球装置から見た血液」(参加者未登録)の3件。
- ・平成20年度の会費未入金者は5月末現在、46名。新入会が1名あった。

③会計(田邊)

- ・前会計担当理事からの事務引き継ぎが終わっていない。
- ・顧問の横山司法書士への契約料支払時期は、事務引き継ぎ後、通帳で確認する。

3、組織

・祝賀会報告(岩田)

出席者は、招待4名を含む61名。収支報告があり、残金は、次回の祝賀会の補助にあてる。

・九臨技臨時会議報告(津曲)

- ・6月21日(土)の日臨技理事会に向けて、各地区技師会から日臨技支部への移行に対する、地区技師会の現状と問題点・要望等の調査の内容の協議・決定する、臨時の九臨技会議が6月14日(土)に福岡市で開催され、会長代理で出席した。
- ・宮臨技における現状と問題点・要望の回答を事務局より九臨技に回答した。
- ・九臨技としては、各県技師会で勉強を進めながら、協調し合わないと、単独では厳しいかと思われる。
- ・予算については、助成金の額を上げて貰わないと、公益法人化後の予算が不足するのでは、また、事務所はどうするのかという懸念がある。
- ・支部の区割りは、現在の7地区が適当ではないか。
- ・日臨技は、各地区からの調査回答をもとにこれから支部の規約・定款変更等を検討をする予定
- ・今後もこのような協議会が開催されるかと思われ、今回の会議では、梅橋九臨技会長が協議決定事項をもとに、現段階での回答をとりまとめ、長迫理事が翌週の日臨技理事会で報告することになった。
- ・九州各県技師会の法人化への動向について
福岡県は本年度12月に申請予定。大分県は本年度総会で公益法人化へ移行決定。他県はまだ、準備段階。
- ・九州各県技師会の事務所の保有状況について

各県とも不動産としての所有は無く、賃貸アパートを使用。

- ・九臨技役員について、岩田副会長の理事就任を再確認し、了承された。
- ・平成 20 年度宮崎県医療功労者知事表彰に古賀総合病院の牧野技師を推薦した。

4、学術（岩田）

- ・臨床化学研究班勉強会（第 1 回）の収支決算報告があった。書類は次理事会で提出。（津曲）
- ・生理研究班から企画書申請があった。
平成 21 年 2 月 21 日（土）宮崎社会保険病院で実技と講演の研修会を企画。
予算は研究班活動費で賄えるが、機器の借用が必要。
東芝メディカル、日立メディコ、アロカ、フィリップスエレクトロニクスジャパンの 4 社に器機借用書を宮臨技から出して欲しい。次回の理事会で企画内容を改めて審議し、器機借用願いを発行する予定。

審議事項

1. 精度管理調査必要備品について（継続審議分）

- ・予算的には、九州学会・全国学会の残金があるが、これは次回の九州学会積立金として充てるのか。（但し、定期総会で事務所購入の費用として承認済み）
- ・今回、備品請求のあった 3 研究班以外にも、パソコンを支給する必要がある。
- ・何年か後に、器機の更新となった場合、予算面で不透明。
- ・各研究班の活動状況により、助成金の残金が異なる。
- ・精度管理調査事業には、資金が必要であるので、新たに研究班・委員会の形を設け、予算を組む形で、パソコンを購入する。但し、見積もり額の一部とする。
- ・標準物質の経費だけでも 23 万円以上かかる。
- ・3 班へのパソコン支給は、予算的に厳しい。
- ・委員の守田技師・中村技師に、具体的に説明を求め、必要とする備品と助成金を確認する。
- ・他県の状況も確認する必要がある。
- ・臨床化学・血液・一般部門以外にも、精度管理は必要であろう。
- ・県医師会からの助成が将来、打ち切りになる可能性もある。
- ・新たに予算をつける場合、総会で承認をうける必要もあり、継続審議とする。

2. 論文投稿規定の見直しについて

- ・現在のオフセット印刷であれば、原稿の見直し作業が省略できる。
- ・技師会誌が次号より A4 サイズになるのに合わせ、日臨技の投稿規定と宮臨技の現規定とを比較し、今後、検討をしていく。

3. 平成 20 年度公衆衛生事業功労者の表彰について

組織担当で対応する。

4. その他

事務所購入について

- ・1 戸建てで 1400 万位の物件だと、郊外になるおそれがあり、不便である。築 10 年程度のマンションであれば 1400 万位、築 20 年程度のマンションであれば 1000 万位になるのではないだろうか。耐用年数を考えると築 10 年程度の物件を探す。15 名程度の会議が出来る部屋の広さ・近所に駐車場がある物件を中心に今年中に探す。前理事の野口技師、清山技師と連絡し合い、組織担当理事で検討を進める。
- ・先の日臨技総会・式典で全国学会について感謝状を戴いたので、事務所で保管管理する。総会の委任状 287 票で、恙なく終了した。
- ・6 月 28 日（土）、九臨技会議に日野浦会、津曲副会長、岩田副会長、日高事務局長、田邊理事の 5 名が出席する。
- ・事務局パソコンの LAN 接続工事について
医師会病院検査室内で、事務局パソコン用が LAN 接続できない現状にあるため、新たに LAN 接続の工事を行いたく、見積もりをとり、工事の施工と代金 1 万 9 千円について了承された。
- ・公益事業（AED 講習会、宮崎市健康ふくしまつり、糖尿病シンポジウム）について
日臨技に公益事業の申請提出が 3 ヶ月前までなので、それまでに準備を整え、申請書類を作成する。
AED 講習会については、開催予定の延岡地区理事に連絡し、準備を開始する。
AED 講習会は伊豆理事、ふくしまつりは組織（宮崎地区）、糖尿病シンポジウムは学術の担当とする。

次回 7 月 15 日（火）開催予定